

更生保護 あおもり

【第94号】

発行日 令和3年12月
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会
 青森県保護司会連合会
 青森市長島1-3-25 電話 017(776)6419
<https://www.ao-kousei.com>



ホームページ
青森県更生保護
ネットワーク



初夏、ベンセ湿原にニコウキスゲの咲き乱れ

「日本の自然100選」にも選ばれた見事な景観、向こうに岩木山を望む！
見頃：6月中旬頃ニコウキスゲ、7月上旬頃ハナショウブ

【写真提供／県西ブロック・五所川原地区保護司会】

「保護司の犯罪予防活動」

青森県保護司会連合会 会長 天内 修

本年11月2日、五所川原市のオルテンシアにおいて、第42回青森県更生保護大会が開催され成功裏のうちに無事終了いたしました。大会スタッフとして県西地域の保護司や更生保護女性会、青森保護観察所保護観察官等はもちろんのこと、参加された皆様のご配慮ご協力によるものと感謝申し上げます。

さて、新型ウィルス「コロナ」感染拡大により、平成20年、21年は、犯罪予防活動をはじめとする更生保護活動がほとんどできませんでした。今年度に入りましてもコロナ禍が収まらず“社会を明るくする運動”はじめ犯罪予防活動が、自治体や市民、児童生徒等との対面での活動ができず、専ら社明用ののぼり設置やポスター張り。広報活動の難しさを覚えたことと思います。

コロナ禍拡大に合わせたわけではないでしょ

うが、保護局と全保連では、保護司会のICT化を進めており、一部の地区保護司会では、会場入場者数を少なくするため会場3か所へのリモート配信による犯罪予防活動を、県保連では青森市と八戸市で街頭でのLEDビジョンによる“社会を明るくする運動”の広報をしました。各地区保護司会でも3密を避けるべく様々な方法で開催し、ご苦労されたものと思います。

今後は、保護司会や保護観察所の会合、研修、手紙での通達等は、ICTを活用したネット配信が多くなり、犯罪予防活動も当然のごとく、保護司会や自治体のSNSやホームページを活用した広報活動を増やすことが必要となるでしょう。また、そのほうが今までより何百何千倍も多く市民が、保護司(会)のこと、犯罪予防活動はじめ保護司会活動のことを知る機会になるでしょう。これからは、どういう方法で活動することがいいのか、県保連としても苦慮しており、皆様のお知恵をお聞かせ願えれば、とても有難く思います。

しかし、ICTを活用することがとても大事ですが、私見ですが、人は人の中で成長するものかと、人間対人間の対話を大事のしたいものです。どちらなのか、よく分からないことを述べていますが、いずれにしてもツールの活用次第で、これからの犯罪予防活動は広く市民に行きわたるようにすることが、とても大事なことと思います。

更生保護関係者の方々のご健勝、ご活躍を願っております。

研さん資料 (保護司制度・研修・保護司)	
ID	資料名
11	保護司パンフレット
12	より多くの保護司の担い手を見つけるために「保護司の安定的な確保」のためのマニュアル
13	最初に私に寄り添ってくれた人-保護司-
19	支えてくれた人との出会い〜ある少年院出陣者の思い〜
131	保護司のためのQ&A

地域別定例研修の資料や各種研さん資料も見られます

青森保護観察所・保護司のホームページ

清興「津軽三味線演奏」 講演「世界遺産で元気になる」

五所川原第一高等学校
津軽三味線部
三内丸山遺跡センター所長
岡田 康博氏

第42回青森県更生保護大会 五所川原市オルテンシア

犯罪や非行のない地域 社会の建設に寄与する ことをここに宣言

令和4年11月2日、秋晴れとなったこの日、コロナ禍により3年間延期となっていた第42回青森県更生保護大会が、五所川原オルテンシアにて開催された。

県内の各地区保護司会の保護司をはじめ関係者約600名が参加。今回は五所川原地区、つがる地区、鱈ヶ沢地区の3地区の保護司会が合同で担当した。

初めの清興は、五所川原第一高等学校津軽三味線部「津軽三味線」の演奏。次に三内丸山遺跡センター所長・岡田康博氏が「世界遺産で元気になる」と題して講演を行った。式典では、法務大臣表彰等（本紙6～7ページ参照）が行われ、最後に宣言文を採択した。

また、昨年6月に青森県では、「再犯の防止等の推進に関する法律」第8条第1項の規定に基づき、国の再犯防止推進計画を勘案し、本県の実情に応じた施策を推進するために「青森県再犯防止推進計画」を策定した事もあり、今後の県の取り組みにも期待が持てそうだ。



五所川原第一高等学校津軽三味線部の「津軽三味線」の演奏

青森県更生保護ネットワークの
ホームページのトップで
アーカイブをYouTube
にて配信中 【お断り】当日、会場の通信状態が不安定
で一部画像が乱れています。



三内丸山遺跡センター所長岡田氏の講演風景



受付の風景



法務大臣表彰受賞者(左端・青森保護観察所野尻所長、右端・東北地方更生保護委員会杉山委員長)

【宣言文一部抜粋】

私たち青森県の更生保護関係者は、社会情勢の変化に対応し、国民が更生保護事業に寄せる期待と要請に応え、その責務の重大なることに思いをいたし、犯罪や非行をした人の改善更生に努めるとともに、効果的な犯罪予防活動を推進するための一層の努力と精進を重ね、犯罪や非行のない地域社会の建設に寄与することをここに宣言します。

就労支援・更生保護ネットワーク・フォローアップ

三重県・滋賀県更生保護の視察研修 ～令和4年11月・青森県更生保護関係者～

報告者：更生保護法人青森県更生保護協会事務局長 鬼柳久美子

令和4年11月28日(月)

更生保護施設「上弁財荘」見学

- 収容定員 20 名、鉄筋コンクリート造 3 階建、平成 25 年 3 月全面改築。
- 調理員による栄養バランスの良い手作りの食事が提供されている。
- 更生保護女性会の奉仕による食事会も定期的に行われている。
- 施設の集会室等を解放し、会議、研修、レクリエーション等で利用してもらい、地域の人々とのふれあいを大切にしている。



上弁財荘食堂

三重県更生保護事業協会・三重県就労支援事業者機構との情報交換

〈三重県更生保護事業協会〉

- 財源となる寄附金や賛助会費は青森県更生保護協会の2倍であるが、三重県更生保護事業協会では地方公共団体(三重県)と三重県社会福祉協議会(共同募金)からの補助金収入(毎年)があるということが一番の相違点であった。

〈三重県就労支援事業者機構〉

- 就労支援事業者機構職員の充実。事務局長・アドバイザー(警察官OB)・就労支援スタッフ(元刑務官)という3名の職員が、保護観察所や協力雇用主、保護司会と連携して対象者等の就労に繋げている。
- 三重県保護司会連合会に協力依頼を行い、各地区保護司会(三重県は16保護区)に就労支援委員数名を指名し、その委員を中心に既存の協力雇用主の継続意思確認と新規開拓、各地区に協力雇用主会の設置を依頼した。その結果、全保護区保護司会に「更生保護協力雇用主会」が組織された。
- 三重県就労支援事業者機構からは各地区保護司会へ助成されている。



令和4年11月29日(火)

大津保護観察所・滋賀県更生保護関係団体との意見交換

《休眠預金活用事業として「息の長い支援基盤整備事業」を実施》

- 滋賀県更生保護事業協会が休眠預金活用事業実行団体として公募し、「息の長い支援基盤整備事業」を実施することし補助金を受けた。
- 滋賀県内各地区保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会が、団体独自または団体協働での様々な事業計画を立て実施した場合に、更生保護事業協会から助成金を配布している。
 - 例1)「餅つき会」「みんなでひな祭り」「手作りうどん」…彦根地区保護司会・女性会
 - 例2)「更生保護基盤づくり」… 守山保護司会・協力雇用主会
 - 例3)「地域の子どもの支援センター・社協と連携した子ども食堂」… 高島地区保護司会・女性会

※「休眠預金活用事業」については、月刊誌「更生保護」令和4年11月号参照



滋賀県更生保護ネットワークセンター(更生保護協会、就労支援事業者機構、保護司会連合、更生保護女性連盟が同室)

《保護観察終了者へのフォローアップ事業》

- 「息の長い支援」についてのアンケート調査結果(滋賀県の保護司と女性会員)
 - ・「息の長い支援」に必要な内容：『就労支援』・『生活上の困りごとの相談』・『居場所づくり』
 - ・「息の長い支援」に取り組むボランティアへの支援：『知識、技術、情報の習得等の支援』・『地域住民の理解や協力』
- 滋賀県保護司会連合会で、保護観察終了者へのフォローアップに関するパンフレットを作成し、保護観察を終える際に提示している。



※更生保護関係団体の連携が大事!

冊子「更生保護みちのく」執筆募集中！

青森保護観察所
企画調整課

機関紙の冊子「更生保護みちのく」は、3か月毎に刊行しております。保護司専用ホームページ「はあと」でもお知らせをお送りしておりました。記事の執筆については保護観察官から保護司の皆様へ個別に依頼させていただいていますが、少なからず執筆者が固定化してしまっている状況です。四季折々の青森県の名所や魅力などをPRするよい機会ですので、もし「地元のココを是非知ってもらいたい！」という気持ちをお持ちの保護司さんがいらっしゃたら、ぜひ青森保護観察所の企画調整課までご連絡をお願いします。(TEL 017-776-6419)



青森地区

中学校からオンライン生中継



社会を明るくする運動・中学校との連携事業は、青森市立南中学校からオンラインでの生中継 (Zoom) を行った。今年もコロナ禍対応として3年生は体育館にて対面で、2年生と1年生は教室でテレビを視聴して参加。保護司は、青森保護観察所に集まるか、個人でオンラインでの生中継 (Zoom) での視聴となった。昨年は、音の反響で聞こえが良くなかったが、今回はそれなりに対応できた。電波上での不具合や画質を許容できれば、テレビを見ているようでとても便利だが、全てオンラインでは無く、対面での温もりを感じることも大事だ。

弘前地区

活動は人対人でドラマもある



今期、弘前の社明運動は6月29日森山会長4度目のFMアップルウェーブ「行政なでも情報」での社明運動広報放送。7月4日、7月11日、広報車による市内巡回活動。7月10日、コロナ対策を万全にして(人数制限、ウイルス対策、アトラクションなし)3年ぶりの社明運動決起大会とメッセージ伝達式を弘前駅前ヒロロで行った。10月29日、弘前公園「菊と紅葉まつり」開催式典が行われた日、弘前公園追手門前で「社会を明るくする運動」PRリフレットその他を配布し街頭啓発活動。この活動は人対人なのでドラマもある。「保護司」を知らない人への説明や場所柄 観光客とは「私も大阪で保護司をしています」とマスク越しの短時間ではあるが情報交換会があったりする。

八戸地区

出前！更生ホゴちゃん！パネル展示会 添釜でおもてなし



令和4年10月10日、市の中心街にある八戸市ポータルミュージアム「はっち」で多数の来客をお迎えしてパネル展示会を開催しました。会場では、江戸千家の有志の方々から添釜のお点前を紹介しながら、来場した一人一人に抹茶とお菓子をお出ししました。普段あまり見る事のないお点前の様子をじっくりと見たり、和服姿のお嬢さんからいただく思いもかけないおもてなしに微笑んだり、和やかな雰囲気溢れた一日となりました。パネルをしっかり見ていく方も多く、配付した啓発用のウェットティッシュとリーフレットは200部を超えました。昨年度はコロナ禍で無人開催だっただけに、賑わいのある啓発活動ができたのは嬉しい限りです。

南黒地区

保護司を啓発する一助に



収穫感謝のお祭りとして11月19、20日の両日、黒石市と藤崎町で黒石りんご祭り、ふじさき秋まつりが開かれました。ステージ発表、物産販売、健康づくりに関する催し等、黒石では、農家えりすぐりのリンゴ販売、藤崎では、青天の霹靂を使ったジャンボおにぎりや、アップルパイの振る舞い等、どちらの会場も大いににぎわいました。両イベントに、毎年参加している南黒地区保護司会も一丸となって、第72回社会を明るくする運動南黒地区保護司会とロゴ入りのティッシュを配布し多くの来場者から喜ばれ、また、保護司を啓発する一助になりました。

河南地区

イザベラ・バードの碓ヶ関



出典
イザベラ・バード
旅に生きた英国婦人
講談社学術文庫
著：パット・パー
訳：小野崎 晶裕

碓ヶ関からイザベラが通った矢立峠へは湯ノ沢温泉郷(現在は廃業)方向へ行って行き、かつての温泉郷の左手に菅江真澄、吉田松陰、伊能忠敬も通った「矢立遊歩道」の案内板がある。明治天皇やイザベラが通ったのは明治新道(旧羽州街道)で「日本にしては素晴らしい道路である」と記す。この道を北上して碓ヶ関街に入る。関所跡に向かって架かっていた橋が大雨で崩壊するのを目撃する。明治11(1878)年7月30日から8月3日の4泊5日を降り続く雨の中で旅籠「葛原」で過ごした。「私がこの土地で気晴らしにやることは、川の水がどれ程下がったか、毎日3度見に行くこと。また、子供たちが遊ぶのを見、おもちゃや菓子を買ってあげる。一日に、沢山の眼病の人に目薬をつけてやる」
大雨でなければイザベラは碓ヶ関を素通りしていたかも知れない。

つがる地区

保護司は意識向上と自覚を持つ事



9月28日、鱈ヶ沢中央公民館にて青森保護観察所野尻所長、県保連天内会長、鱈ヶ沢町平田町長を迎え3年ぶりに県西ブロック研修が開催されました。「北前船の寄港地 鱈ヶ沢の港町文化」と題して鱈ヶ沢町芸中田書矢氏の講演、鱈ヶ沢地区から事例発表・研究協議や参加地区の活動状況の発表や取り組みが話されました。続いて、つがる地区吉田会長より地区の状況が語られました。保護司活動の一つである更生活動が少ないという良い状況下、保護司は社明活動と保護司としての更なる意識向上と自覚を持つ事が役割と提示されました。また観察所への要望もありました。次年度の開催地は、つがる地区の予定です。

鱈ヶ沢地区

ミニ集会でケーキ作り



11月30日、深浦町の木造高等学校深浦校舎においてミニ集会を開催しました。
11月26日開催予定のミニ集会が教師に数名のコロナ感染者が出たとのことで中止になったばかりで、当日のミニ集会も開催を心配していましたが、生徒の家族に感染の疑われる方が出たとのことで急遽ミニ集会での保護司講話は通常通り行い、「ケーキ作り」は、保護司のみで行うことに変更になりました。
参加した保護司6名で手分けしながら「ケーキ作り」をしました。幸いにも出来上がったケーキを生徒と一緒に食べることが出来て「美味しい、美味しい」と言って頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

上十三地区

待望の視察研修、裁判所・刑務所



コロナ禍のなか、懸案の「視察研修」を実施いたしました。「青森地方裁判所」及び「青森刑務所」を訪問し、研修致しました。これは、新任保護司がコロナ禍期間中に、8名にも及ぶ入れ替えがあった事によります。また、保護司になったものの、事案担当数も限られ減少している中、保護司の本分向上のためでもあります。
視察研修は、11月28日・29日の両日に行われ、「青森地方裁判所」では、「裁判員制度」の纏々説明を受け、厳粛に研修し、「青森刑務所」では、一変して和やかな研修会となりました。刑務所の施設見学は緊張が走りましたが、応対して頂いた、刑務担当官の配慮には、心から敬意を表するものです。担当官によりますと、刑務所視察はコロナ禍の中では久しぶりの来訪であり、刑務所としても、これを機に色々の訪問を前向きに考えたいと話しておりました。視察研修の行程には、不老不死温泉での親睦会と、津軽地方各地の観光も随所に織り交ぜて、保護司の交流を深め、充実した視察研修会になりました。

五所川原地区

“社明運動”五所川原地区の取組



【五所川原分会】全世帯に市広報誌と一緒に再犯防止活動リーフレットの配布
【板柳分会】防犯・防火・交通安全の推進表彰者の回覧とメッセージ伝達
【中泊分会】バスにて町内一円社明パレード及び交通安全声かけ運動
【鶴田分会】社明強化月間の7月1日、国道339号沿線に「“社明運動”」のぼり旗を設置。1ヶ月間国道利用者に社明運動の啓蒙を図る。
また、町役場庁舎通路に横断幕及びのぼり旗を設置。さらに内閣総理大臣メッセージを鶴田副町長に更女会と共に伝達しました。
更には、町交通安全推進協議会による交通安全街頭指導を通して犯罪予防活動の一環として声掛け運動、中学生、高校生への朝のあいさつ運動等に取り組んでいます。

むつ下北地区

社会福祉士と保護司の懇談会について



青森県社会福祉士会下北支部とむつ下北地区保護司会が、むつ下北地区の「安心安全なまちづくりと再犯防止」を推進するために懇談会を開催しました。
その中で、当会の「社明運動」について説明したところ、11月20日に開催される第一回むつ下北未来創生4大学合同キャンパス祭において、「合同でそれぞれの活動紹介や社会を明るくする運動」の啓発活動を行うことにしました。
当日は、会場に訪れた大学生や地域住民の皆様に「安全安心なまちづくりと社明運動」についてPRしました。

野辺地区

初めてホゴちゃんが登場



「メッセージ伝達式及び第17回野辺地町児童・生徒書道作品展表彰式」が、10月9日(日)中央公民館で開催された。応募作品67点は、10月1日から9日まで、ロビーで展示され、当日は、来賓として、野村秀雄町長、新渡幹夫教育委員会教育長にご臨席いただき、メッセージ伝達式の後、表彰式が行われた。入賞者27名の内、当日出席した子供達16名が、吉原支部長から賞状を授与され、子供達、保護者、書道教室の先生方は感激していた。
また、今年は初めてホゴちゃんが登場し、会場を盛り上げ一緒に記念撮影をし、閉会した。

おめでとうございます (敬称略)

◆令和4年【叙勲・褒章】

【瑞宝双光章】

(青森) 関 一字 (令和4年4月29日)
(鰺ヶ沢) 安田 悠宏 (令和4年11月3日)

【藍綬褒章】

(野辺地) 築田 成義 (令和4年4月29日)
(五所川原) 高橋 一夫 (令和4年11月3日)

令和4年度受彰者名簿

法務大臣表彰【保護司】

(青森) 石田 孝信 (青森) 川島 芳正
(弘前) 田村 清司 (弘前) 菱谷 貞信
(八戸) 中村 好伸 (河南) 阿部 妙子
(五所川原) 棟方 久雄 (五所川原) 齋藤 ヤツエ
(つがる) 対馬 順子 (上十三) 垂井 則子
(野辺地) 兔内 佐智子 (むつ下北) 成田 豊
(むつ下北) 中津 義悦

法務大臣感謝状【寄附者】

(青森) 関 一字
(株式会社三和堂 代表取締役社長) 中村 ゆう (令和4年4月1日)

更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【保護司】

(青森) 山田 啓子 (青森) 川嶋 勝美
(青森) 山形 民雄 (弘前) 島 浩之
(弘前) 成田 圭子 (弘前) 赤平 恵美子
(八戸) 沼畑 俊一 (八戸) 濱谷 豊美
(南黒) 三浦 勝男 (五所川原) 山田 泰仙
(鰺ヶ沢) 松沢 忠男 (上十三) 野月光 一
(上十三) 高橋 文雄 (むつ下北) 畑中 政勝

更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【家族功労】

(弘前) 竹鼻 千代子 (八戸) 上田 宗子

更生保護法人 全国更生保護法人連盟理事長表彰【理事】

(更生保護法人 あすなる 理事) 堀越 敏雄

東北地方更生保護委員会委員長表彰【保護司】

(青森) 兜森 忍道 (青森) 古川 崇
(青森) 常田 アキエ (弘前) 三浦 順子
(弘前) 稲村 孝司 (弘前) 小山 幸子
(八戸) 齋藤 清吾 (八戸) 鈴木 鉄男
(八戸) 田頭 順子 (八戸) 中館 弘一
(八戸) 越後 秀 (八戸) 大館 一法
(八戸) 田中 たか子 (五所川原) 古川 節子
(五所川原) 対馬 肇 (五所川原) 中野 博之
(鰺ヶ沢) 根上 秀雄 (上十三) 赤平 光定
(上十三) 太田 勝男 (上十三) 駒沢 今子
(むつ下北) 佐藤 敬子

東北地方更生保護委員会委員長感謝状【寄附者】

(青森) 青森地区保護司会 (八戸) 八戸地区保護司会

東北地方更生保護委員会委員長感謝状【協力雇用主】

(青森市) 有限会社松竹梅造園

東北地方保護司連盟会長表彰【保護司】

(青森) 高橋 俊嗣 (青森) 藤田 貢

(弘前) 相馬 尚登 (弘前) 田中 長佳
(弘前) 松橋 武史 (八戸) 極 檀 義昭
(八戸) 島脇 通保 (八戸) 清 水 健治
(八戸) 高橋 芳久 (八戸) 中 村 政勝
(八戸) 鳴海 秀彦 (八戸) 三 浦 美
(八戸) 三笠 勝彦 (八戸) 秋 山 芳輝
(八戸) 川村 春男 (八戸) 黒 沢 修
(八戸) 田中 康勝 (八戸) 三 田 龍三
(南黒) 小野 恵理子 (南黒) 工 藤 清満
(南黒) 森 篤 (河南) 菊 池 つる
(五所川原) 坂本 洋子 (五所川原) 成 田 良幸
(鰺ヶ沢) 木村 武三郎 (鰺ヶ沢) 吉 田 政志
(野辺地) 葛西 隆康 (野辺地) 小 泉 國雄
(野辺地) 濱飯 忠明 (むつ下北) 宮 浦 基

東北地方保護司連盟会長表彰【家族功労】

(青森) 今井 嗣郎 (弘前) 菱谷 誓子
(八戸) 田中 慶展 (鰺ヶ沢) 清野 道雄
(野辺地) 鳥谷部 真紀子

東北地方更生保護施設連盟会長表彰【法人役職員】

(更生保護法人 あすなる 評議員) 佐藤 玲恵子
(更生保護法人 あすなる 評議員) 津島 弘美

青森県知事感謝状【保護司】

(青森) 工藤 晶信 (青森) 松山 義幸
(青森) 穴水 由利子 (青森) 岩谷 博昭
(弘前) 大湯 恵津子 (弘前) 工藤 武重
(八戸) 佐藤 隆祥 (八戸) 才川 雅明
(八戸) 佐々木 吉雄 (八戸) 種市 則美
(八戸) 秋田 堯瑛 (八戸) 稲垣 邦廣
(河南) 富谷 久 (河南) 村田 祖澄
(五所川原) 大屋 和香 (五所川原) 大坂 隆典
(五所川原) 三浦 泰昭 (上十三) 織笠 敦也
(上十三) 苦米地 孝子 (むつ下北) 菊池 瑞章
(むつ下北) 土佐 そう子

青森保護観察所長表彰【保護司】

(青森) 有馬 敦子 (青森) 大山 由紀子
(青森) 織田 隆全 (青森) 工藤 美智子
(青森) 佐々木 雅久 (青森) 七戸 俊逸
(青森) 柚谷 徹也 (青森) 高尾 和子
(青森) 高橋 修一 (青森) 對馬 博
(青森) 中村 徹 (青森) 鳴海 敏恵
(青森) 山上 雄治 (弘前) 中村 寿仙
(八戸) 品田 泰峻 (八戸) 溝江 透
(南黒) 鈴木 金逸 (上十三) 松村 茂
(野辺地) 青山 一航 (野辺地) 附田 繁志
(野辺地) 天間 良一 (野辺地) 花松 了寛
(むつ下北) 掛端正 広

青森保護観察所長表彰【法人役職員】

(更生保護法人 青森県更生保護協会 監事) 大坂 健藏
(更生保護法人 青森県更生保護協会 理事) 武田 隆一
(更生保護法人 あすなる 理事) 大井 亮

青森保護観察所長表彰【民間協力者】

(青森市) 青森地区保護司OB会 (青森市) 青森地区更生保護女性会
(弘前市) 弘前地区更生保護女性会 (五所川原市) 五所川原地区更生保護女性会
(八戸市) 八戸地区更生保護女性会 (黒石市) 黒石地区更生保護女性会
(十和田市) 十和田地区更生保護女性会 (おいらせ町) おいらせ町地区更生保護女性会
(三沢市) 三沢地区更生保護女性会 (東北町) 東北町地区更生保護女性会
(板柳町) 板柳地区更生保護女性会 (鶴田町) 鶴田地区更生保護女性会
(青森市) 三浦 順子

青森保護観察所長感謝状【協力雇用主】

(青森市) 株式会社 精養軒

青森保護観察所長感謝状【医療観察】

(青森市) 社会福祉法人 徳誠福祉会

青森県保護司会連合会会長表彰【保護司】

- (青森) 大柳正光 (青森) 柿崎慎一
(青森) 榊直哉 (青森) 坂本浩司
(青森) 笹森康之 (青森) 外崎玄司
(青森) 中田靖人 (青森) 米谷恵司
(弘前) 石山敬 (弘前) 岡田加奈子
(弘前) 小山内則子 (弘前) 木下一志子
(弘前) 渋谷拓弥 (弘前) 須藤典枝
(弘前) 高橋武敏 (八戸) 赤石和枝
(八戸) 岩見謙 (八戸) 熊谷将人
(八戸) 蹴揚忠義 (八戸) 千葉ケイ子
(八戸) 永野範英 (八戸) 中村光雄
(八戸) 三河龍一 (八戸) 宮本則男
(南黒) 大平陽子 (南黒) 小野隆司
(河南) 北山倉栄 (五所川原) 五十嵐弘仁
(五所川原) 一戸治 (五所川原) 工藤仁
(つがる) 佐藤勲 (つがる) 野呂良人
(つがる) 藤田典久 (野辺地) 蛭名浩司
(野辺地) 冲津賢一 (野辺地) 鳥山薫
(野辺地) 毛利由美子 (むつ下北) 小川勉
(むつ下北) 蛸島佳子

青森県保護司会連合会会長表彰【家族功労】

- (青森) 山形京子 (弘前) 笹森京子
(八戸) 三浦明子 (南黒) 石澤きぬ子
(河南) 村田典子 (つがる) 松木武
(鱒ヶ沢) 相馬時子 (上十三) 田中愛子
(野辺地) 逄隆英 (むつ下北) 辻美代子

青森県保護司会連合会会長感謝状【民間協力者】

(野辺地) 松尾 貴臣 (音楽活動家)

特定非営利活動法人青森県就労支援事業者機構会長表彰【協力雇用主】

(五所川原市) 株式会社和島組

◎更生保護女性会員

法務大臣感謝状

(五戸) 三浦智子

日本更生保護女性連盟会長表彰

(青森) 今井百合子 (弘前) 吉本睦子
(鶴田) 宮本 はる枝

東北地方更生保護委員会委員長感謝状

(五所川原) 菊池遊子 (黒石) 鎌田恵美子
(おいらせ町) 三村享子 (つがる市) 柴谷恵美

東北地方更生保護女性連盟会長表彰

(青森) 櫻田恵子 (弘前) 久保田節子
(八戸) 富岡節子 (三戸) 大羽澤則子
(大鰐) 成田さなえ (むつ) 柏木ハル
(中泊町) 古川節子 (平川) 福士智子
(野辺地) 高野節子 (東北町) 山田まき子
(五戸) 畠山美代子 (板柳) 安田久美子
(大間) 泉山英子 (六戸) 畑中徹子

青森保護観察所長感謝状

(青森) 横内 まるゑ (五所川原) 伝法谷 誠子
(八戸) 及川 洋子 (黒石) 猪股 てつ子
(三戸) 中居 しづ子 (むつ) 坂本 悦子

(おいらせ町) 菅 原 多恵子 (中泊町) 小 寺 美智子
(平川) 大 橋 藤 子 (野辺地) 佐々木 栄 子
(三 沢) 浪 岡 ち や (東北町) 沼 山 アイ子
(五 戸) 小 村 美恵子 (つがる市) 村 上 和 子
(鶴 田) 蒔 苗 愛 子 (大 間) 新 相 郁 子
(六 戸) 滝 沢 京 子

青森県更生保護女性連盟会長表彰

(青 森) 堀 川 淑 子 (弘 前) 大 湯 恵津子
(弘 前) 工 藤 ノリ (弘 前) 畑 山 由美子
(五所川原) 三 橋 洋 子 (八 戸) 工 藤 洋 子
(黒 石) 工 藤 陽 子 (三 戸) 田 辺 みつ
(十和田) 母良田 梅 子 (十和田) 中 野 とみ
(十和田) 佐々木 キンコ (大 鰐) 倉 橋 祥 子
(む つ) 藤 田 直 子 (おいらせ町) 田 中 國 子
(中泊町) 今 博 子 (平 川) 大 川 喜久子
(野辺地) 北 館 みどり (三 沢) 大 沢 慶 子
(東北町) 蛭 沢 悦 子 (東北町) 蛭 沢 光 子
(五 戸) 江 渡 まき (板 柳) 大 屋 和 香
(つがる市) 会 津 弘 子 (鶴 田) 石 戸 谷 晃 子
(大 間) 松 谷 慎 子 (六 戸) 赤 石 スミ

◎BBS会員

日本BBS連盟会長表彰【BBS会員】

(青 森) 高 谷 賢

青森保護観察所長感謝状【BBS会員】

(保健大学) 安孫子 夏 妃 (保健大学) 新 垣 な な
(保健大学) 大 崎 莉 奈 (保健大学) 斉 藤 光 輪
(保健大学) 沢 田 雛 (保健大学) 田 端 彩 乃
(保健大学) 渡 邊 瑠 奈 (弘前大学) 青 山 風優子
(弘前大学) 工 藤 詩 織 (弘前大学) 長 濱 志 保
(弘前大学) 藤 田 唯 衣 (弘前大学) 安 田 涼 真
(八戸学院大学) 小 澤 萌 花 (八戸学院大学) 沼 畑 瑠 菜
(八戸学院大学) 濱 浦 良 野 (八戸学院大学) 吉 田 桃 菜

保護司の異動

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

(令和4年6月30日付) 佐 藤 昌 子 (つがる)
(令和4年9月20日付) 岡 田 雄 道 (上十三)
(令和4年10月5日付) 高 松 博 幸 (野辺地)
(令和4年8月31日付)

大 柳 常 弘 (青 森) 齊 藤 光 司 (青 森)
花 田 栄 介 (青 森) 福 留 規 子 (青 森)
山 本 光 藏 (青 森) 倉 光 稻 子 (弘 前)
藤 田 眞 佐 子 (八 戸) 横 地 倫 明 (八 戸)
今 井 亘 (河 南) 菊 池 つ る (河 南)
須 崎 悠 悦 (五所川原) 三 上 敏 洋 (五所川原)
小 林 千 恵 (上十三)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

(令和4年9月1日付)
三 上 拓 也 (青 森) 武 田 隆 全 (青 森)
船 木 麗 子 (青 森) 中 村 大 慶 (青 森)
高 坂 行 成 (青 森) 佐 藤 正 (弘 前)
平 井 秀 樹 (弘 前) 瓜 田 正 勝 (弘 前)
藤 田 ゆかり (弘 前) 齋 藤 朋 子 (弘 前)
泉 山 智 子 (八 戸) 館 千 春 (八 戸)
大 川 喜久子 (河 南) 近 藤 節 子 (つがる)
高 松 大 樹 (野辺地) 由 川 裕 規 (むつ下北)
館 野 寿 俊 (むつ下北)

教育の場でも更生保護に対して理解と関心を

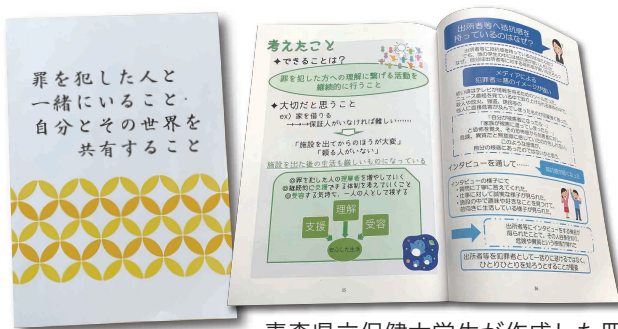
教育委員会教育長へ表敬訪問

青森保護観察所、青森県更生保護協会、青森県更生保護施設あすなろ、青森県保護司会連合会、青森県就労支援事業者機構から代表者らが、令和4年9月～10月にかけて青森市、弘前市、八戸市の教育委員会教育長へそれぞれ表敬訪問し、次の項目について意見交換した。

- ①教育の場でも更生保護に対して理解と関心を深めて頂きたい。
- ②法務省主唱“社会を明るくする運動”作文コンテストへ参加協力の依頼。
- ③青森県立保健大学生が、刑務所出所者や協力雇用主などインタビュー、保護司との交流の冊子を教育現場で活用して頂きたい。



令和4年10月14日 八戸市教育委員会 伊藤教育長へ表敬訪問



青森県立保健大学生が作成した冊子

次の方々から浄財が寄せられました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈令和4年6月1日～令和4年11月30日〉

- 〈15万円〉 弘前地区保護司会
- 〈5万円〉 石田 憲久 大黒 裕明
藤井 洋一郎 宮崎 春子
- 〈4万円〉 源新 和彦 三浦 順子
石田 恒久 田邊 孝美
山口 正春 武田 隆一
川島 芳正 柿崎 雅美
- 〈3万円〉 株式会社 三和堂 上十三地区保護司会
五所川原地区保護司会 野辺地地区保護司会
南黒地区保護司会 むつ下北地区保護司会
沼田 桃子 清水 邦博
米谷 恵司 中村 満雄
佐々木 雅久 奈良岡 隆
町田 光司 珍田 眞
鈴木 泰雄 天内 修
大坂 健藏 佐藤 玲恵子
吉田 誠也 鎌田 喜代志
津島 弘美 最上 伸子
- 〈2万円〉 青森地区更生保護女性会(みんなのつどい)
河南地区保護司会 つがる地区保護司会
鱈ヶ沢地区保護司会
- 〈1万円〉 宮越 寛

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈令和4年6月1日～令和4年11月30日〉

- 【賛助会員】 〈4万円〉 株式会社 青森銀行
〈2万円〉 株式会社 みちのく銀行

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈令和4年6月1日～令和4年11月30日〉

- 〈2万円〉 青森地区更生保護女性会(みんなのつどい)
- 〈1万円〉 おいらせ地区更生保護女性会
青森県更生保護女性連盟
青森地区更生保護女性会

随時、寄附を承っております

ホームページをご覧頂くか、直接 青森県 更生 検索
電話でお問い合わせください。
〈寄附の問い合わせ〉
更生保護法人 青森県更生保護協会 TEL 017-776-6419
更生保護施設 プラザあすなろ TEL 017-734-6211

保護司の皆様へ

住所、連絡先、職業等変更になった場合は、各地区の事務局へご連絡をお願い致します。